

民報

おうしゅう

読者版

発行 張所
赤旗奥州出張所
水沢大手町3丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049

「新医療センター」建設予定地を含む水沢公園再整備基本構想見直し業務費用 補正予算から削除する修正動議を提出、可決！



水沢公園陸上競技場

6月25日、第二回定例会が閉会しました。議案のうち、一般会計計補正予算（第三号）は18日の審議で、小中学校の給食費の無償化の予算や市役所本庁、各総合支所と幼保施設などの施設の維持管理・小修繕を5年間特定の企業に一括して委託する予算をめぐり総務常任委員会で検討するため最終日に採決が繰り延べになっていました。

最終日の審議で、高橋浩議員（最大会派の奥和会）から水沢公園再整備基本構想見直し業務の委託料の削除、令和9年度業務の債務負担行為の削除を求める修正動議が提出され、14対13の僅差で可決されました。日本共産党市議団は、提案者の一員に加わり、修正動議に賛成し予算から削除となりました。

水沢公園再整備構想は すでに策定されている

【倉成淳前市長の整備構想】

水沢公園の再整備については、倉成淳前市長がすでに、令和6年・同7年と、市民アンケート、市民ワークショップなどを開催しました。担当者によると昨年12月に「再整備構想」を策定したとされています。（この構想は、官民連携を掲げ、民間資本で整備・運営をするPFI方式での整備をめざすものです。）

しかし、市長が変わり「混乱を招く」として公表されていません。



水沢公園内の芝生

【提案に加わった理由】

従来の水沢公園再整備構想は、「新医療センター」を水沢公園の陸上競技場の場所に建設する予定で検討エリアから外されていました。今回提案された水沢公園再整備見直し業務では、陸上競技場の場所も含めて見直しの対象になっており、見直し計画ができれば、新医療センターの建設場所はなくなるのが想定されます。

「新医療センター」構想 2年間「凍結」するも まだ代替案はありません

郷右近市長は、「新医療センター」について、2年間凍結し、半年で「地域医療のグランドデザイン」をつくり、「2年以内に確かな医療体制のロードマップ」を示すとしています。そして、6月2日に医療関係者で組織された「奥州市地域医療検討会議」を開催しています。

「新医療センター」に代わる 施設の建設は明言せず

郷右近市長は、「新医療センター」に代わる施設の建設については明らかにしていません。

「持続可能な地域医療の体制を構築」するとして、総合水沢病院の耐震性の確保は、職員・利用者の安全を確保するため、新病院の建設とは切り離し、別に早急に検討することを明らかにしています。（6月16日の一般質問から）

まず、市長の地域医療の 姿を明らかにすべきです

「新医療センター」の建設予定地をなくす前に、郷右近市長がめざす「地域医療」の具体的な姿や、市立医療施設のありかたを示すべきです。

でなければ、2年間「凍結」でなく実質「中止」となりかねません。

万が一、「新医療センター」に代わる施設を設置するとなった場合は、新たな用地の取得・造成費用、現在想定している国などの費用面での支援を受けられないなどの問題が発生することになります。

まずは、郷右近市長の考える地域医療の姿、市立医療施設のあり方を明確にする必要があると考えます。

【削除に賛成した議員】

今野裕文、千田美津子、千葉敦、佐藤美雪、中西秀俊、加藤清、高橋浩、高橋善行、佐々木友美子、門脇芳裕、千葉典弘、菊地淳、飯坂和也、阿部加代子

【削除に反対した議員】

小野優、高橋晋、及川春樹、岩淵高紀、小野寺勝、佐藤永匡、三浦秀夫、菅野至、及川佐、佐藤克也、岩淵英浩、戸直美、及川泰輔

（敬称略）

【公園はなくなりません】

一部に、公園がなくなると噂されています。なくなる予定だったのは、公園内の陸上競技場です。（奥州市は、小沢昌記市長時代に、行革の一環として水沢公園陸上競技場に体育館と武道館を一つにし整備する方針を示していました。）

また、議会の「討論」で、水沢公園開設150周年記念事業に水を差す旨の発言がくりかえされましたが、削除された予算は直接関係ありません。成立した補正予算には、水沢公園の桜の樹勢回復等のための予算が別に200万円計上されています。

担当者は、150周年記念事業として来年の当初予算等に計上する予定だとしています。